

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーその5

南が丘小学校公開研究会 参加者からのご意見

9月1日（金）に南が丘小学校公開研究会が行われ80名の参加者のもと「道徳の時間」について研修を深めました。今回の『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーその5では、参加者の方から頂いたアンケート結果を紹介いたします。

南が丘小学校「心に響く、心が動く道徳の時間の授業」とは

- 資料や話し合いを通して、道徳的価値の自覚を深め、自分の生き方を考えることができ、他の教育活動や日常生活へとつなげていける授業。
- 自己の内面との対話を通して、児童が新しい価値に気づき、心を揺さぶられ、自分を振り返り、自分の生き方を考えていくことができる授業

7つの工夫

【1 資料の活用・提示の工夫】

〈3年生〉

- ・資料をコンパクトに分かりやすくまとめる。
- ・1枚の挿絵の活用

〈6年生〉

- ・朝学習の時間に資料を読む。
- ・資料の分割提示。

→肯定的評価
100%



【2 導入の工夫】

〈3年生〉

- ・子どもの身近な問題で価値への意識づけをさせる。

〈6年生〉

- ・登場人物の関係とあらすじを整理して板書する。

→肯定的評価
87.8%



【3 展開前段の工夫】

〈3年生〉

- ・女子高生の行動に着目させ、マナーの大切さを考えさせる。

〈6年生〉

- ・立ち位置を主人公におき、心情の変化をとらえさせながら、自分ごととして考えさせる。
- ・ペアで交流し、考えを深め広げる。

→肯定的評価
81.6%



【4 展開後段の工夫】

〈3年生〉

- ・わたしたちの道徳を活用し1枚の写真から身近な問題を取り上げ、話し合わせる。

〈6年生〉

- ・事前アンケートの結果から、具体的なエピソードを取り上げ、話し合わせる。

→肯定的評価
68.4%



【5 終末の工夫】

〈3・4年生〉

- ・本時を振り返る場面→1単位時間の授業での価値への考え方の変化や思いを知る

→肯定的評価
78.9%

【7 評価の工夫】

- ・児童用評価と教師用評価の取組

→肯定的評価
81.6%

【6 板書の工夫】

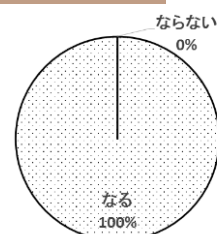
〈3年生〉

- ・グループで話し合ったきまりをはり、ギャラリーウォークにより結果が分るようにする。

〈6年生〉

- ・3人の関係、主人公の心情がわかる。
- ・ネームカードの活用

→肯定的評価
92.1%



【南が丘小学校の「学校力向上の取組」は、参加者の皆様
参加者の皆様から
の学校の実践に参考となりますか？】 →

- 考えを深めていく過程が目に見えてよかった。ノートにしっかり自分の考えを書き込む力がついていることがわかりました。今日は勉強させていただきました。グループ討議も熱が入りました。
- 道徳の指導（研究）については、自校でもまだ確立していない部分があり、日々の授業でも共通理解できていないところもあります。今回の研究会はとても参考となるポイントがたくさんありました。これまでの学びの積み重ね（ノートの定着、グループ交流）が見えたのと、まだ悩みながら研究を進めているところ、子どもたちの実態をよく理解しながら、教材を選ぶ大切さ、日々の学級経営作りなど、小さいことから丁寧に積み重ねて、つなげていくことを改めて学べたことが私自身の成果となりました。ありがとうございました。

南が丘小学校では、今回の研究会において、肯定的評価の低かった「4展開後段の工夫」について、「自分の考え」をしっかりともち、「考え、議論する道徳」となるよう、更に校内研修を深めて参ります。また参観日等でも積極的に「道徳の時間」を公開いたしますので、皆様からの更なるご意見等、よろしくお願いいたします。